

Hiroshima University Alumni Association

広島大学校友会・だより

Phoenix Club

第6号

自由で平和な一つの大学。

平成21年11月7日(土)

広島大学創立60周年記念事業

第3回広島大学ホームカミングデー

記念植樹
記念式典

ゴードン・サトウ博士 学術講演

川本辰男博士 学術講演

東儀秀樹氏 雅楽公演

衣笠祥雄氏 文化講演

五木寛之氏 学術講演

八杉康夫氏 文化講演

学部・研究科企画

海外同窓会企画

祝賀パーティー

広島大学校友会の「ホームカミングデー」は、今年で3回目。

今年は、「広島大学創立60周年記念事業」とあわせての開催となりました。

大学祭、教育学部祭(E-Storm)など、在学生たち主催のイベントも同時開催。

遠くから参加の卒業生や在学生保護者など5000人を超える人々で

主会場のサタケメモリアルホール周辺は、終日にぎわいました。

60年前、森戸辰男初代学長によって掲げられた

「自由で平和な一つの大学」という建学の精神が脈々と継承されていることを

あらためて実感させる一日でした。

来年も、11月第1土曜日、東広島キャンパスでお会いしましょう。





04 西本勉さん
(政経学部卒)
川本先生の講演を聴き、進んだ研究に広大の方が関わっているのが素晴らしいなと心から思いました。

03 川本先生(左)と西本勉さん(右)の対談の様子。

02 二井谷高さん(政経学部卒)との対談の様子。

01 二井谷高さん(政経学部卒)との対談の様子。

14 竹本紗希さん(法学部卒)との対談の様子。

13 竹本紗希さん(法学部卒)との対談の様子。

12 寺山成明さん(工学部卒)との対談の様子。

11 青野由美子さん(保護者)との対談の様子。

10 青野由美子さん(保護者)との対談の様子。

22 山本義昭さん(工学部卒)との対談の様子。

21 山本義昭さん(工学部卒)との対談の様子。

20 小林康義さん(工学部卒)との対談の様子。

19 小林康義さん(工学部卒)との対談の様子。

18 小林康義さん(工学部卒)との対談の様子。

ガーデンショット

た。いい笑顔、ありがとうございました。

32 徳永哲雄さん(政経学部卒)との対談の様子。

31 徳永哲雄さん(政経学部卒)との対談の様子。

30 原田力さん(教育学部卒)との対談の様子。

29 原田力さん(教育学部卒)との対談の様子。

28 張莎さん(教育学研究科留学生)との対談の様子。

40 榎原捷二さん(工学部卒)との対談の様子。

39 榎原捷二さん(工学部卒)との対談の様子。

38 藤川文義さん(教育学部卒)との対談の様子。

37 藤川文義さん(教育学部卒)との対談の様子。

49 久保田守さん(理学部卒)との対談の様子。

48 久保田守さん(理学部卒)との対談の様子。

47 益田さん(工学部卒)との対談の様子。

46 益田さん(工学部卒)との対談の様子。

57 河本秀一さん(水産学部卒)との対談の様子。

56 河本秀一さん(水産学部卒)との対談の様子。

55 河本秀一さん(水産学部卒)との対談の様子。

掲載写真を差し上げます。
ご希望の方は、写真の番号を指定の上、郵便番号・住所・宛名を記入して、FAXまたはメールなどでお申込みください。
【申込先】
広島大学校友会事務局
※住所・メールアドレス・FAX番号などは最終ページに記載



受付ブースも早くから大にぎわい。



色づく東広島キャンパスを初めて訪れた卒業生も多いはず。



会場前では広島大学吹奏楽団がウエルカム演奏。



メイン会場のサタケメモリアルホールには開場を待つ人の列ができました。

創立60周年記念式典



広島大学を支えてくださる方々には来賓席で参加していただきました。



記念式典で挨拶をする浅原利正学長。



「光あり 遠き山なみ〜」大学歌の合唱には、ステージと客席が一つになって大学歌を歌い上げた。「大学歌を歌いたくてホームカミングデーに参加する」という声も聞かれた。



サタケメモリアルホール内の様子は大型モニターでホールの外にもライブ中継された。満席で入場できない公演を、広場のテーブルで、食事をとりながらゆっくり鑑賞する人も多かった。



記念式典の司会は、広島大学の下田修二法人管理グループリーダー(経済学部卒)。記念の学術講演や文化講演の司会は、広島テレビアナウンサーの西名みずほさん(文学部卒)。



卒業生の方々と一緒に、学生たちが写真を撮影。その写真で「60」の文字を描き出す学生たちの企画。見事、完成しました。ご協力くださった皆さん、ありがとうございました。



「今の学生たちとちょっと話したい」という、これまでのホームカミングデー参加者の声に応じて、在学生たちがコミュニケーションチームを結成。事前PRからホール外ステージの企画・運営、来場者のおもてなしまで、大活躍。

学部・研究科企画

それぞれの学部などが講演会や演奏会、懇談会などを開催。ホームカミングデーは卒業生に、現在の学部などの進化を見ていただく日でもあります。



国際協力研究科のシンポジウムは多くの参加者でにぎわいました。



工学部2階ロビーで、学生たちが展示した「新しい工学」に見入る卒業生たち。

法学部・経済学部・社会科学部研究科では、近畿大学学長畑博行先生（広島大学名誉教授）の講演会の後、懇親会を開催しました。



文学部・理学部共催の『世界とふれあう語学カフェ』。留学生も交えて進められました。



大学祭

時代は変わっても、学生たちは一生懸命。スペイン広場を中心に、さまざまな企画が繰り広げられ、多くの人でにぎわいました。今年の目玉は、広大OBのアンガーズのステージショー。



文書館「広島大学の歴史」パネル展

サタケメモリアルホールのロビーで開催。懐かしい写真に見入る人も。



教育学部祭「E-Storm」教育学部の学生が、子どもたちをターゲットに開催するイベント。大人でも楽しめる。



図書館所蔵貴重資料展

カントの『永久平和のために』初版本、マルクスの『資本論』第1巻初版本なども特別公開。



総合博物館展

入館者3万人を突破した総合博物館も、「瀬戸内海と宮島—自然と文化—」を開催して盛り上げに協力。



祝賀パーティー



海外同窓会企画



物産展

広大と包括協定を結ぶ市町の特産物がズラリ。中でも、広島大学地域貢献事業から生まれたハッサクを使った商品の試食販売は、大盛況。



ホームコンサート

ホールの外でもジャズ研究会、フォークソング部、吹奏楽団などの現役生・OB・OGが演奏を聞かせてくれました。



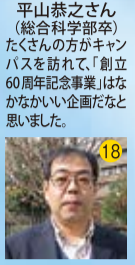
09 K.Kさん (文学部卒) 大学祭が豪華になっているようで、とてもうれしい。これからも優秀な学生の育成に力をいれたい。



07 大出勝広さん (政経学部卒) 文学部で中国、韓国、ベトナムの留学生の話の聞きましたが、皆さんとても日本語がうまくて感心しました。



06 矢野下達郎さん (工学部卒) 学生の遊びといえは、ダンスや映画くらいでした。いまの学生はほんなどを楽しくして楽しんでるんですよ。



17 平山恭之さん (総合科学部卒) たくさんの方がキャンパスを訪れて、「創立60周年記念事業」はなかなかいい企画だなと思いました。



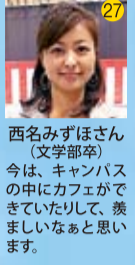
18 西名みずほさん (文学部卒) 今は、キャンパスの中にカフェができていたりして、羨ましいなあと思います。



16 三浦邦光さん (工学部卒) 講演を聞いたり、企画を見たいと神戸から来ました。すべて充実したプログラムでとても満足です。



15 畑尾武海さん (総合科学部卒) もっと若い人や女性がホームカミングデーに参加してほしい。より盛り上がると思います。



27 西名みずほさん (文学部卒) 今は、キャンパスの中にカフェができていたりして、羨ましいなあと思います。



26 三浦邦光さん (工学部卒) 講演を聞いたり、企画を見たいと神戸から来ました。すべて充実したプログラムでとても満足です。



25 三浦邦光さん (工学部卒) 講演を聞いたり、企画を見たいと神戸から来ました。すべて充実したプログラムでとても満足です。



23 合原幸宏さん (工学部卒) 記念式典で大学歌を歌いました。なんか、メロディーを覚えていましたよ。やっぱり懐かしかったです。

ホームカミングデー

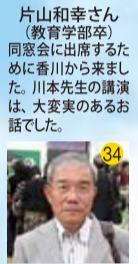
たくさんのご来場、ありがとうございます



36 引地康夫さん (工学部卒) 卒業してから初めて学祭とホームカミングデーに来ました。若い人たちが盛り上げていていいですね。



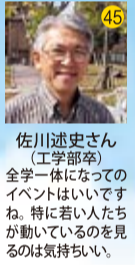
35 片山和幸さん (教育学部卒) 同窓会に出席するために香川から来ました。川本先生の講演は、大変実のあるお話を聞きました。



34 引地康夫さん (工学部卒) 卒業してから初めて学祭とホームカミングデーに来ました。若い人たちが盛り上げていていいですね。



33 片山和幸さん (教育学部卒) 同窓会に出席するために香川から来ました。川本先生の講演は、大変実のあるお話を聞きました。



45 佐川述史さん (工学部卒) 全学一体になってのイベントはいいですね。特に若い人たちが動いているのを見るのは気持ちいい。



44 和田卓郎さん (名誉教授) 学生の皆さんには遊んで回遊道をしてもらいたいから、学問の本質をつかんでほしいと思っています。



43 S.Fさん (工学部卒) 久しぶりに母校を見たくて来ました。今の学生たちにはこの環境を利用して、勉強してもらいたい。



42 S.Fさん (工学部卒) 久しぶりに母校を見たくて来ました。今の学生たちにはこの環境を利用して、勉強してもらいたい。



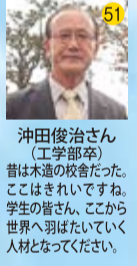
54 塚本展也さん (工学部卒) ほとんどの学部が集まって大きなキャンパスを形成しているのは素晴らしい。昔は狭かったですからね。



53 塚本展也さん (工学部卒) ほとんどの学部が集まって大きなキャンパスを形成しているのは素晴らしい。昔は狭かったですからね。



52 沖田俊治さん (工学部卒) 昔は木造の校舎だった。ここはきれいですね。学生の皆さん、これから世界へ羽ばたいていく人材になってください。



51 白木久さん (工学部卒) 昔千田町にあった工学部は木造のボロ校舎でした。今は、こんなにきれいで、うらやましく思います。



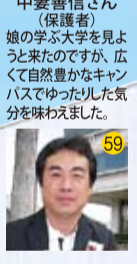
62 K.Kさん (文学部卒) 今回のキャンパスは広くてきれいですね。私たちの学生時代は、木造の建物で勉強してました。



61 K.Kさん (文学部卒) 今回のキャンパスは広くてきれいですね。私たちの学生時代は、木造の建物で勉強してました。



60 中妻善信さん (保護者) 娘の学ぶ大学を見ようと思ったのですが、広くて自然豊かなキャンパスでゆったりの気分を味わえました。



58 黒田邦美さん (工学部卒) 私が学生だったのは初代学長の頃でした。このキャンパスを見ると、昔のキャンパスは小さかったですね。



63 K.Kさん (文学部卒) 今回のキャンパスは広くてきれいですね。私たちの学生時代は、木造の建物で勉強してました。



ホームコンサート
ホールの外でもジャズ研究会、フォークソング部、吹奏楽団などの現役生・OB・OGが演奏を聞かせてくれました。



ソプラノ歌手
松永知子さん (1986年 文学部卒業)

広大での出逢いが進路を変えた。

60周年記念式典で美しい歌声を聞かせてくれたソプラノ歌手の松永さんは、広島大学文学部文学科(英語学英文学)の卒業生。そして、広島大学合唱団の先輩です。式典の後、女子学生4人が、その転身の過程に迫りました。

合唱団で、はじけました。

「大学では合唱団に入る」と決めていました。好きだったんですよ、歌うことが。一番好きなのは歌うことでも、歌って生活はできないから、うーん、英語をやるのか……くらいな気持ちで進学したんですよ。高校でも合唱部でしたけれど、混声合唱といったら男女の交流はほとんどなかったんです。それが大学に入ってから、男女一緒に集まって練習したり話したり、大人数で盛り上がりたり……歌うだけでなく、合唱団そのものが楽しかった。

私、大学に入って二気にはじけました(笑)。

ボロボロのサークル棟。でも楽しかった。

合唱団の練習日は決まっていたけれど、それ以外にパート練習、個人練習、役員会、総会などいろいろ集まりがあったから、ほぼ毎日クラブ活動をやっていました。学部の友達よりも合唱団の友達と一緒に過ごす時間の方が圧倒的に長かったですね。東千田キャンパスの「ごちやごちや」の中にある、木の造りの狭くてボロボロのサークル棟でね、夏は暑い、冬は寒い。でも、そんなこと、気にならなかった。みんなと一緒にいて、好きな合唱ができるのが本当に楽しかった。

西尾先生との出逢いが人生を変えた。

大学1年の夏休みに先輩に声をかけてもらって、西尾優先生のボイストレーニングに通うようになりました。今考えれば、これが大きな岐路でしたね。進路を決めなければならぬとき、「ソロでやって



みたい。アマではなくてプロになりたい」と、気持ちを固めました。もし、西尾先生に出逢わなければ、普通に英語の先生になって地域の合唱団で歌ったりしていたでしょうね、きっと。

広大時代は青春そのもの。

きちんと音楽を勉強したいと東京芸大に進学したのですが、ここでは自分の技を磨くのに精いっぱい。広大では、試験前に、分担してノートをみせ合ったり、合唱の練習で説教したりされたり……。余計なおせっかいだと思いつつ、ね。

合唱団はとにかくタテのつながりが強いんですよ。先輩が後輩の面倒をみるのは当たり前で、自然にそれが受け継がれていった。卒業して何年も経った今でも、合唱団つながりでみんなと会ったり話ができたりする。この点で本当に恵まれていたと思います。そう、芸大では音楽に採まれ、広大では人に採まれた、って感じかな。

たくさんの人との出逢いがあった、だから今の自分がある——広大時代って私にとっては青春そのものですね。

音楽仲間「ハートフェルトコンサート」

97年の初リサイタルからずっと続けているのが「ハートフェルトコンサート」。歌だけじゃなく、楽器を演奏している皆さんの仲間にも出演してもらっています。実は、楽器を演奏している人の中にも、普段はオーケストラに参加しているけど、時にはソロで演奏したいという仲間が結構いるんです。そういう音楽仲間と一緒にやるコンサートです。これは、大事にしたいと思っています。

このコンサートのプロデュースをしているのは夫です。大学で経営学を教えているのですが、演奏会を手がけているせいか、特にアートマネージメントに関心があるようで、『今日からあなたもプロデューサー』(境新著 レッソンの友社)を出版したくらいなんです。そう、彼も音楽をこよなく愛する一人ですね。



広島大学文学部文学科(英語学英文学)から東京芸術大学声楽科へ。1993年からイタリアでオペラを学び、1998年にはウインでシュベルト「ト長調ミサ」のソロをつとめる。日本でもリサイタルを重ね、「松永知子ソプラノリサイタル」「イタリア古典歌曲集」「日本歌曲集」などのCDもリリースしている。藤原歌劇団正団員。日本演奏連盟会員。

好きなことに終わりはない。

なぜ、そんなに歌に情熱を注げるか……うーん、とにかく歌が好きだから。好きなことって理由がないでしょ?(笑)

もちろん、歌い方が分からなくて迷ったり、イヤになったりすることもありますよ。でも、「この曲、一生のうちにも二度と歌えないかも」って思ってた歌いこんでいくうちに好きになってくるんです。それに、歌に、「これで完璧!」っていうのはないから終わらないですね。

20代のうちは力任せでも歌えるけど、年を重ねるごとに、それに合わせて日々いい発声を考えていかなければならないと思うんです。私の場合、自分が楽器ですから、しっかり手入れをする。そうやって「日でも長く歌っていたいな」と思います。

後輩から歌に対する情熱がとて強く伝わってきました。好きなことを仕事にできる……難しいことを実現しておられる松永さんは本当に素敵でした。(教育学研究科/宮永静)

私も音楽系のサークルに所属していたので、お話しに共感しっぱなしでした。社会に出て、こんなふうに学生時代の話をイキイキと語れたらいいなあ。(総合科学部研究科/森岡知子)

合唱団は今でも人間関係が深い。これって、大切なんだと改めて感じました。サークルでは歌だけでなく大切なものをたくさん学べるんですね。(教育学部/椎木咲江)

「東京芸大での生活を通して、広大合唱団での先輩や後輩との連帯感をより一層感じた」というお話しにうなずきました。(総合科学部/加茂川侑享)



教育学部研究科/森岡知子、総合科学部研究科/宮永静、教育学部/椎木咲江、教育学部/加茂川侑享、総合科学部/加茂川侑享

キャンパス ZOOM

「学びたい」という意欲を持つ学内外の人へ 広島大学の教育(学びの場)をコーディネート

Eクステンションセンター

●公開講座 広島大学で行われる教育・研究を分かりやすく紹介する講座。毎年春に年間の公開講座を発表。

●放送セミナー 中国放送のテレビ、ラジオを通して放送される講座。DVD・CDは公民館や高校にも教材として提供しています。

●高大連携事業 大学生の授業に高校生が参加する「公開授業」と、高校生のために開講する「公開講座」を実施。

●履修証明プログラム 過去に修得した知識や技術に磨きかけたり資格取得を支援する講座。すべて履修した方には「履修証明書」を発行。

●地方自治体との連携事業 東広島市、呉市、広島市の生涯学習に広島大学が参画して開催する講座。

●広島夕学(せきがく)講座 広島市商工会議所との連携により、世界や日本で活躍している方の講演を聴く講座。

社会向けの講座、いろいろ

「大病院は今」「インド・パワーのひみつ」「平和のカタチ」——広島大学から発信されるテレビ・ラジオセミナーの今年度のテーマです。

「あなたも私も染料役者」「数学の基礎と展望」「高齢者のための家でもできる健康体操教室」——こちらは、今年度の広島大学公開講座の一部。純粋に学問的な講座からスポーツなど実質的なテーマまで幅広い領域にわたっています。

これら、学内外向けの多彩な講座を企画・運営・提供しているのが広島大学エクステンションセンターです。

学びたい人に、学ぶ機会を

広島大学は、伝統的に「教育の広大」と言われてきました。現在も豊富な人材が集まっており、高い教育レベルを保っています。

一方、地域社会や企業には、「学びたい」という意欲を持つ人が多くおられます。エクステンションセンターは、これらの方々や大学をコーディネート。企業や一般、高校生、さらには広島大学構成員に向けて、学びの機会を企画・提供しています。

公開講座のすべてをウェブ公開

広島大学の公開講座が始まったのは昭和28年。実に半世紀以上の歴史を持っており、昭和35年以降の公開講座のテーマは、すべてホームページで見ることが可能。また、今年度開講されている講座の様子や応募状況、受講者からの反応は逐次、ホームページで公開されています。

平成18年度 新聞記事から見た公開講座

HP ◆ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/extension/>

開催予定 2010年11月6日 (11月第1土曜日)

第4回広島大学 ホームカミングデー

東広島キャンパス

編集後記

◆今年のホームカミングデーは、60周年の節目ということで多くの方が参加してくださいました。また、ご厚意のご寄付もいただきました。今後の事業に役立て、皆さまに納得していただけるような活用をさせていただきます。ありがとうございました。

Phoenix Club

『Phoenix Club』Vol.6
平成21(2009)年12月10日発行 (年3回発行予定)

編集・発行: 広島大学校友会事務局
〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号
TEL(082)424-6015 FAX(082)424-6020
8:30~17:00(土日祝を除く)

E-Mail ◆ sec@phoenix.hirodai.jp
Webサイト ◆ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/>